

## 患者・地域から選ばれる病院をめざす！ 「看護管理者のための診療報酬改定セミナー」開催

宇都宮宏子氏、長英一郎氏を講師に

2020年3月28日に医学書院が主催し、「患者・地域から選ばれる病院をめざす！ 看護管理者のための診療報酬改定セミナー」が開催されました。講師は、看護管理者から支持を集める宇都宮宏子氏（在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス）、長英一郎氏（東日本税理士法人）が務めました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、オンライン限定での開催となりましたが、看護管理者、訪問看護師など全国から約160名が聴講しました。

（本誌編集室）

### 患者の益を最大限に尊重する 医療・ケアを考察

病院組織を取り巻く環境が厳しさを増す中、患者や地域の医療機関から選ばれる病院になるためには、新設された目先の診療報酬に対応するだけでなく、中長期的視点で患者の益を最大限に尊重する医療・ケアを選択し、包括的に実践することが求められます。セミナーではこの

視点のもと、午前は長氏が「2020年診療報酬改定への対応と具体的な選択」をテーマに、午後は宇都宮氏が「地域包括ケア時代に求められる“面倒見のいい病院”って何？——あなたの病院の看護師は、看護できていますか？」をテーマにレクチャーを行いました。

レクチャーの後には、ウェブ参加型ワークショップ「地域の看護・ケアをつなぐ——よりよい在宅移行支援・意思決定支援を皆で考えよう」を実施しました。在宅移行（入退院）支援、意思決定支援、地域包括ケアを切り口に、事前・当日に参加者から寄せられたリアルな課題・質問に対して、2人の講師がライブ形式で対話をしながら解決策を考察しました。

### インタラクティブな オンラインセミナーに好評の声

オンラインによる開催ではあったもの



講師の宇都宮宏子氏、長英一郎氏

の、講師の語り掛ける力と、リアルタイムのチャットやウェブアンケート機能の活用により、インタラクティブな学び合いの機会となり、参加者から好評の声が相次ぎました。

なお、本号の特別記事（p.654）におきまして、長氏の講演を再構成して掲載しています。